



清祓散供の儀を奉仕する宮司と総代長

【両本殿地鎮祭】
平成十九年七月三十日、新たに造成した両本殿移設地において、総代及び工事関係者参列のもと地鎮祭が執り行われ、移設される予定場所の両本殿中央に土地の神へのお供えものである「鎮物」が埋納された。

＊建設関係の祭典・行事



仮拝殿に御動座された御神体に拝礼する宮司と総代

【仮殿遷座祭】
仮殿遷座祭とは、本殿の改築又は修理等を行うとき、一時仮殿に御動座願う場合に行う祭祀である。
平成十九年九月二日、夕闇の中鶴崎神社及び八幡神社の御神体を両本殿の移設が完了するまで、仮設拝殿の神座に御動座する仮殿遷座祭が総代奉仕のもと、厳粛に執行された。

【仮殿遷座祭】



「曳家」により新しい亀腹に移動する鶴崎神社本殿

【両本殿移設】
平成十九年九月十日～二十一日に掛けて曳家工法により鶴崎神社の本殿が一段高い移設地に十メートル移設され、町内の保育園、幼稚園、小学校の児童、中学校の生徒延べ五〇〇名が見学に訪れた。
九月十三日には、小学生の代表数名が実際に「轆轤」を回して曳家体験を行った。

【両本殿移設】



29幣殿から祝詞殿への階（きざはし）



28左向拝に懸魚の取り付け



31予備室外側に設置された石段



30社殿内に設置された和風照明器具



33神饌所に設置された流し台と収納庫



32内部に取り付けられた六葉金具



35高欄に取り付けられた擬宝珠と笹金具



34右祝詞殿に取り付けられた鶴紋入りの門帳